

## 重層的支援体制整備事業実施についての情報（愛知県大府市）

### 1 自治体概要（R3.4.1 現在）

- ・人口 92,881 人
- ・世帯数 39,891 世帯
- ・面積 33.66 km<sup>2</sup>
- ・高齢化率 21.60%

### 2 重層的支援体制整備事業に取り組んだ背景・課題や、取組の理念

- ・地域課題を踏まえ、本事業を通して実現したい目標や地域像

○高齢化の進展に加え、地域や家族内での人間関係の希薄化などを背景に児童・高齢者虐待を始めとする福祉課題が多様化してきていること、大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例を施行し、認知症不安ゼロのまちを目指していること、子ども若者相談（ひきこもり相談）は、対象者の年齢層が広く、法律の範囲のみで対応することが難しいため、重層的支援体制整備事業に取り組む。ヤングケアラーに対しても、ヤングケアラー支援連絡会議を令和3年6月に立上げ、ケースがあった場合に対応していく。市民、団体、事業者、行政など関係機関の効果的な連携により支え合いや助け合いができるまちを目指す。

### 3 主要な取組事項

- ・「相談支援」に関する体制・取組の内容

包括的相談支援事業、多機関協働事業、アウトリーチ等継続支援事業、その他の支援関係機関など、相談支援に係る実施体制のポイント・連携体制の図

○包括的、横断的に相談を受け止め複合・複雑化した支援ニーズに対応する支援体制を整備し、アウトリーチを含めた支援をする仕組みを構築するため、令和3年4月福祉総合相談室を設置。今まで通りひとつの部署で対応できる相談は、既存の窓口で対応する。包括的相談支援事業、多機関協働事業は福祉総合相談室で担当。

○役所内の各課相談窓口

地域福祉課（生活困窮等）、高齢障がい支援課（認知症、障がい等）、子ども未来課（子育て、家庭児童相談等）、保険医療課（年金等）、文化交流課（外国人等）、都市政策課（空き家等）、教育委員会

○専門相談窓口

高齢者・障がい者虐待防止センター、高齢者相談支援センター（社会福祉協議会に委託）  
障がい者相談支援センター（社会福祉協議会に委託）、レインボーハウス（不登校の子の相談）、保健センター（健康に関すること、母子保健等）、石ヶ瀬会館（女性の悩みごと相談）、大府市就業支援センター、ひきこもり専門相談

○重層的支援会議、支援会議は随時開催

○関係機関

保健所、医療機関、ちた地域若者サポートステーション、ハローワーク、成年後見センター等

○アウトリーチを通じた継続的支援事業

令和3年4月よりひきこもり支援におけるアウトリーチ支援を開始（相談支援員(社)憩の郷、今後福祉総合相談室職員も活動予定）

・「参加支援」に関する取組の内容

参加支援事業の実施体制、実施内容、協力関係機関等

○委託（(社) 憩の郷）により、ひきこもりの状態の人（障がいがなくとも）が安心して過ごすことができる居場所としてエスコートおおぶを令和3年4月に開所

○社会福祉協議会の地域づくりコーディネーターによる支援

・「地域づくり」に関する取組の内容

地域住民等の集いの場、住民主体の支援活動などで特徴的な取組（既存の取組で可）

地域住民、企業、商店などを対象とした各種セミナー、ワークショップなど、プラットフォームづくりのための取組

○身近な地域で気軽に集えるふれあいサロン（127か所）、認知症カフェ（7か所）を開設。地域活動支援センターおおぶ、子どもステーション（子育て支援拠点）、おおぶっこ広場（子育て親子の交流、相談、講座など）。全世代型サロンは今年度中に開設を目指し準備中。地区福祉委員会を始めとした地域が主体的に行う活動への支援等

# 重層的支援体制整備事業 大府市版

